

設問

[問い1] 新たな質問、視点

- 1) 今、ご主人と転勤について話せていないとのことですが、以前はどのように話したのでしたか。
- 2) 大塚さんの会社を辞めなければいけないんじゃないかな、と感じるのはどうしてですか。
- 3) 義母さんが以前転勤先についていかないと言った時、大塚さんはどう感じましたか。
- 4) 転勤の話を知り、「やっぱり決まった」と思われたのは、どういう理由からですか。
- 5) 最近仕事が増えたとのことですが、自身の仕事についてどう思われますか。
- 6) 前に一度、話が「あつた」とのことですが、その時の話を振り返っていただけますか。

[問い2]

良かった点

事例Ⅰの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 冒頭で夫の転勤に伴い、どうするか悩んでいる CL の気持ちに寄り添い、お話を聴いていくなかで徐々にではあるが信頼関係構築が進み、お話ししていた。

悪かった点

事例Ⅱの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: CL の以前転勤の話が出た時の夫とのやりとりを聞いておらず、その時の夫の言葉にむねない気持ちになっている CL の気持ちに寄り添ってなく話が展開しなかった。

[問い3] あなたの考える相談者の問題

冒頭で10月に夫の転勤が決まったどうするか悩んでいるが、話を聞いていくなかで以前に転勤の話があった時に「女子は可哀相」と夫から言われ、当然、夫について転勤先に行くと考えていた CL は驚いており、今改めて夫と話しをしてほしいともわらわら悩んでいることより、CL の思いがみがあるように見受けられる。また夫と話をできていないとの発言もあり、夫とのコミュニケーション不足があるように見受けられることが問題点。

[問い4] どのようなやりとりで面談を展開するか

どうするか悩んでいる CL に寄り添い、丁寧にお話を伺っていくことで信頼関係の構築に努める。その上で夫と以前転勤の話が出た時の話を語り、その上でなぜ CL が会社を辞めなければいけないと感じる理由について聞いていく。また義母と共に引っ越すことに対してどのように思われるのか、語ってほしい、話せばいいんじゃないかなと訴える CL に今一度聞いてみる。また夫とのコミュニケーション不足についても承り得て機会を提案する。最終的には CL の主体的な意思決定を支援する。